

こと 箏の持つイメージを変えていきたい

■箏のイメージ

「箏の演奏」と聞くと「古臭い」「難しい」というイメージはありませんか？実際、本格的に演奏しようと思うと、箏は難しいものです。一人で何役もこなさなければいけないし、根気よく練習を続けていかないと人前で演奏できるようにはなりません。そういうところが、敬遠されてしまう理由なのかもしれません。

わたしたちの活動は、こういった箏に対するイメージを変えること。箏は、一人ですせる音域が狭いのですが、合奏することで洋楽を演奏することも可能になります。伝統も大事にしたいですが、時代に合わせた音楽もやっていけたら…。

■アメリカでの感觸

今回「日本の伝統を伝える」という



う た さ と
中根雅楽抄都さん(日の出町)

箏曲生田流正派・七橋会の大師範。市国際交流協会の派遣団員として、今年7月、アメリカ合衆国ハンチントンビーチ市で演奏を行う。



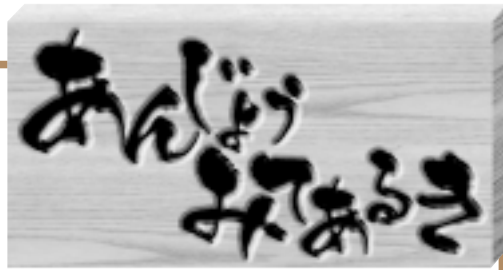
ことに、大変責任感を感じました。演奏するにあたっては、練習を重ねることはもちろん、曲目の選定にもかなりの時間をかけたのです。まずは、日本の民話。音楽に映像を組み合わせることで「日本」を伝えられたらと思います。それから、和楽器に合う曲、ジャズ、最近の曲、日本の唱歌。また、こんな曲も箏で演奏できるんだよということでもモーツァルトの「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」を選びました。

今回の演奏は、箏が5人、尺八が1人。箏を運ぶのは大変でしたが、派遣団の皆さまが手伝ってくれました。また、演奏会場の設営や司会、歌など、皆さまと一緒に盛り上げてくれました。そして、迎えた本番。演奏が終わると、会場からスタンディングオベーションが起きました。それは、日本で演奏しているときには感じられないくらいの反響。演奏していたわたしたち自身も、日本文化の持つ力を感じたのです。も

筆者のつぶやき

箏って、何となく盛り上がりがない、つまらないというイメージがありませんか？でも近年、和太鼓や津軽三味線などの和楽器が、若者に受け入れられています。これから、中根さんたちの活動が広がり、もっと「箏ファン」が増えれば、箏が「クールでかっこいい」楽器になる、そんな日がやってくるかもしれません。

■これから
近年では、中学校で和楽器を習うようになりました。そこでは、楽しんで箏を演奏している生徒もいます。わたしたちが普段行っているステージも、対象の一部は子ども。広い舞台でなく、小さな会場でじかに説明を加えながら演奏をしています。何か特別な才能が必要なものだと感じないように、気軽に箏で「遊んで」もらいたいですね。「おけいごと」の一つとしてではなく、一つの「楽器」として認めてもらい、楽しんでもらえたら…。そして「敷居が高い」というイメージを取り払えたらと思います。



その41

きのこ薬師

市内の北西部に位置する篠目町。町にある八幡宮東側のお堂に、薬師如来像に並び、像にそっくりなきのこがまつてあります。名前を『きのこ薬師』と言います。地元では、病気が治ると伝えられ、こんな昔話が残っています。

『安永年間（1772～1780）のことである。篠目村に眼を患っていた男がいた。漢方医に診てもらい、手当てを受けたのであるが、病はいよいよ悪くなるばかり。そこで村の薬師さまの御力にすがらるほかないと毎日参詣を続けた。結願の夜（旧の8月8日、薬師の命日）、金色の光明の中より薬師如来の御姿が現われ、

「汝らよく聞けよ。信心深い一同によって本人の眼は必ず全快さす」との御声が妻の耳に入った。妻があたりを見回すと、薬師如来の御姿は見え、不思議なこともあるものだと。わたしは、朝になって本人に話した。ところが、眼の痛みも少し良くなつたように思えた。仏参を終えて朝食の時には、家族の顔がおぼろげながら見えてきた。本人も妻も、

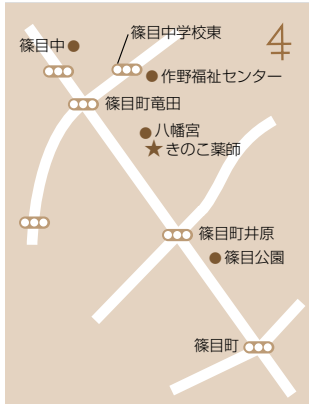
「これは薬師さまの御力だ。ああ、ありがたや」といよいよ信仰し、毎日一心込めて御参りを続けた。21日目に祈願から帰るとハッキリ見えるようになった。このことがいつしか知れ渡り、眼を患っている人や他の病気の者が続々と御参りに来た。

あるとき、この薬師さまの像が盗まれてしまった。八方探し回ったが判らなかつた。村人はしかたなく新しく石造りの薬師さまを造ることにした。堂内を見回ると、盗まれた像の安置してあった後ろの板囲いの間に、薬師さまの姿のきのこが生えていた。村人は何気なくこれを取り

本当に、薬師さまが安置してあった場所から、きのこが生えてきたのか分かります。しかし、昔の人は古いものを大切にしてきたということを実感させられます。これからも、地元の昔話を子どもたちに伝えていきたいですね。



今月の案内人
のむらながとし きたにやすのぶ
野村長俊さん、木谷泰信さん
(篠目町)



薬師如来ご本尊



きのこ薬師如来



毎年9月1日に、町内会で供養しています。また、毎月1日には、普段は閉じているお堂の扉を開けているので、姿を見ることができます。